



株式会社 免疫生物研究所

東証グロース 証券コード：4570

2026年3月期（第44期） 第2四半期（中間期）決算説明資料

代表取締役社長 清藤 勉

2025年11月27日(木)

| 注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品上市の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。



| Contents

- 2026年 3 月期（第44期）第 2 四半期（中間期）連結決算概要
- 2026年 3 月期（第44期）連結業績予想（通期）

2026年 3 月期（第44期） 第 2 四半期（中間期）連結決算概要



2026年 3 月期（第44期） 第 2 四半期（中間期） 連結決算概要

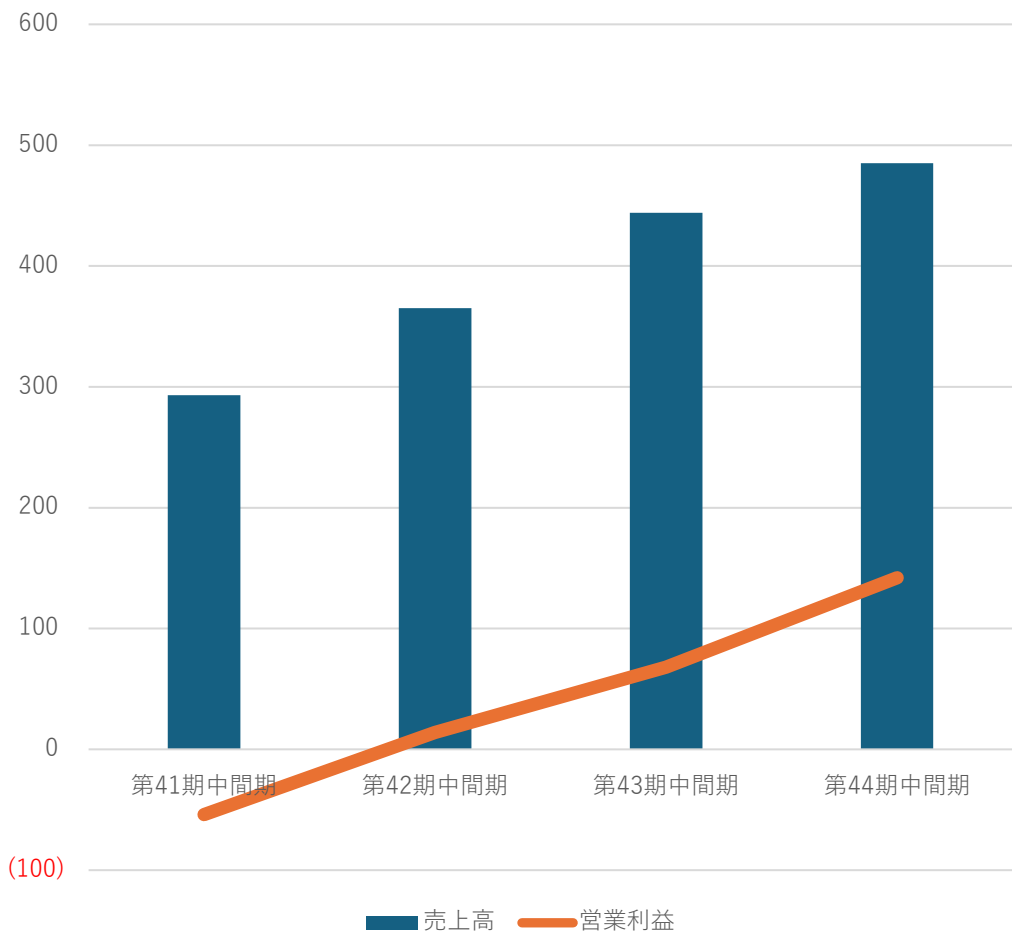
【連結業績】

単位：千円

	2025年 3 月期 (43期) 中間期	2026年 3 月期 (44期) 中間期	前期差 (%)
売上高	444,127	485,489	+9.3
営業利益	68,002	142,124	+109.0
経常利益	64,211	149,842	+133.4
親会社株主に 帰属する 中間純利益	71,512	141,624	+98.0

中間期ごとの業績推移

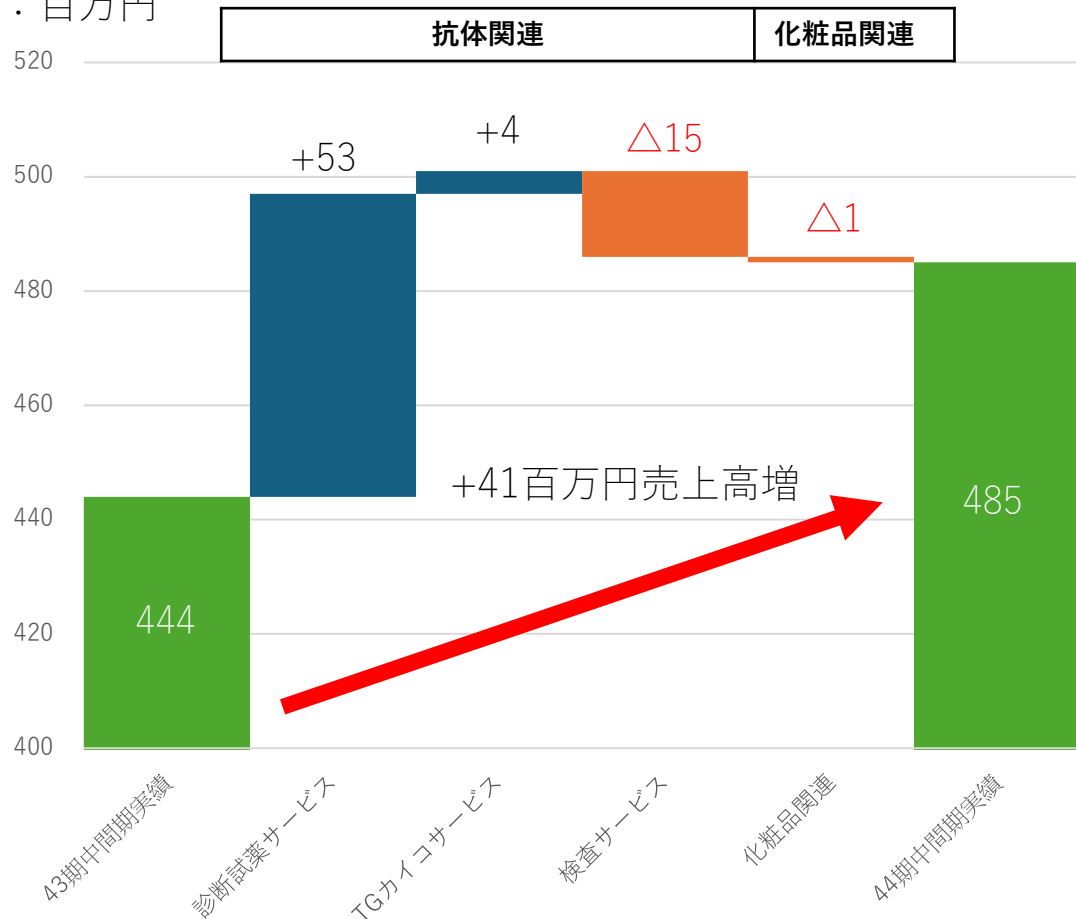
単位：百万円



【売上高増減】

セグメントごとの増減分析（前年中間期比較）

単位：百万円



○トピックス

【診断試薬サービス】

ELISA及び抗体の販売が順調に推移し、前年同期比で大きく増加。中でも抗体販売が前年同期比で111.6%の増加。特に体外診断用医薬品原料としての抗体販売が好調。海外向けのELISA販売も好調で、前年同期比で9.3%の増加。

【TGカイコサービス】

カイコ関連の販売は、ネオシルク®-ヒト型コラーゲンI及びラミニン511-E8の販売が順調に推移し、前年同期比で10.1%の増加。

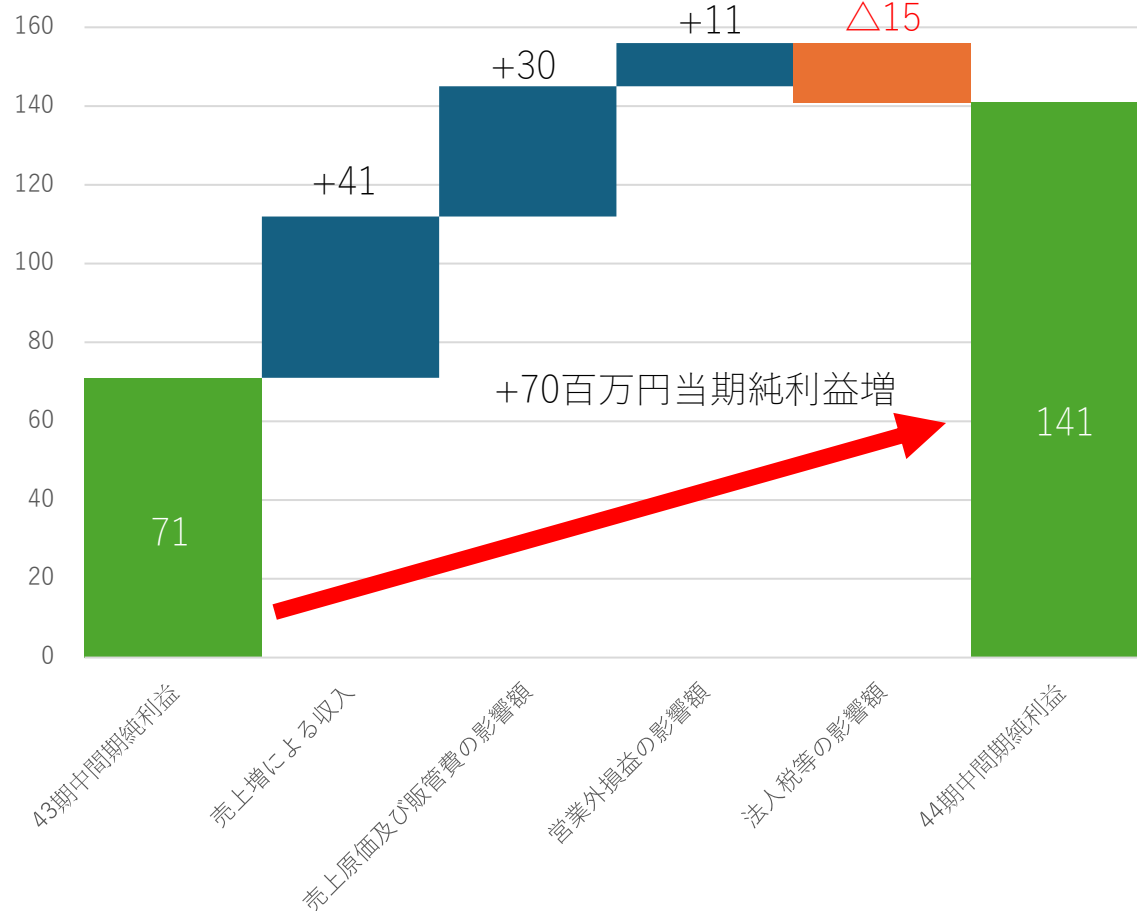
【検査サービス】

LipoSEARCH®や臨床検査サービスに関連するまとまった検査が減少し、前年同期比で49.1%の減少。

【当期純利益増減】

単位：百万円

当期純利益の増減分析（前年中間期比較）



【営業損益】

売上高の増加による影響以外に、秋田解析センターの閉鎖（IBL解析センターへ集約）によるコスト低減も大きく影響し、**利益にプラス**となりました。前年同期（68,002千円の営業利益）比で、**109.0%増加の142,124千円の営業利益**。

【経常損益】

従業員の退職に伴う保険解約金返戻金等の収益が計上されたことにより、**利益にプラス**となりました。前年同期（64,211千円の経常利益）比で、**133.4%増加の149,842千円の経常利益**。

【法人税等】

法人税等調整額等の計上により、**利益にマイナス**となりました。

【親会社株主に帰属する中間純損益】

以上より、前年同期（71,512千円の親会社株主に帰属する中間純利益）比で、**98.0%増加の141,624千円の親会社株主に帰属する中間純利益**となりました。



2026年 3 月期（第44期） 第 2 四半期（中間期） 連結決算概要

【連結貸借対照表の概要】

単位：百万円

	2026年 3 月期中間期		
		構成比 (%)	前期末比 (%)
流動資産	1,497	76.2	+7.7
（現預金）	(955)	(48.6)	+15.7
固定資産	468	23.8	+3.0
資産合計	1,965	100.0	+6.5
流動負債	269	13.7	△4.1
（1年内返済予定の長期借入金）	(27)	(1.4)	△5.7
固定負債	40	2.0	△19.7
（長期借入金）	(22)	(1.1)	△36.7
負債合計	309	15.7	△6.4
純資産合計	1,656	84.3	+9.4
負債純資産合計	1,965	100.0	+6.5

【主要な資産の前期末差】

- ・ 売上債権 53,458千円の減少
- ・ 現金及び預金 129,602千円の増加
- ・ 有形固定資産 21,805千円の増加

【主要な負債の前期末差】

- ・ 長期借入金 14,568千円の減少
（1年内返済予定の長期借入金含む）

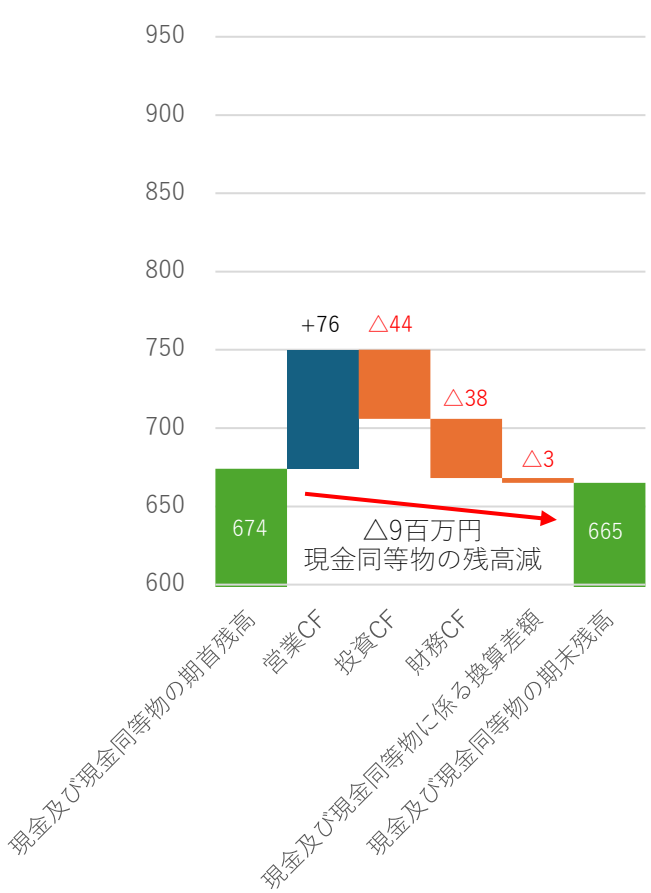
【主要な純資産の前期末差】

- ・ 繰越利益剰余金141,624千円の計上

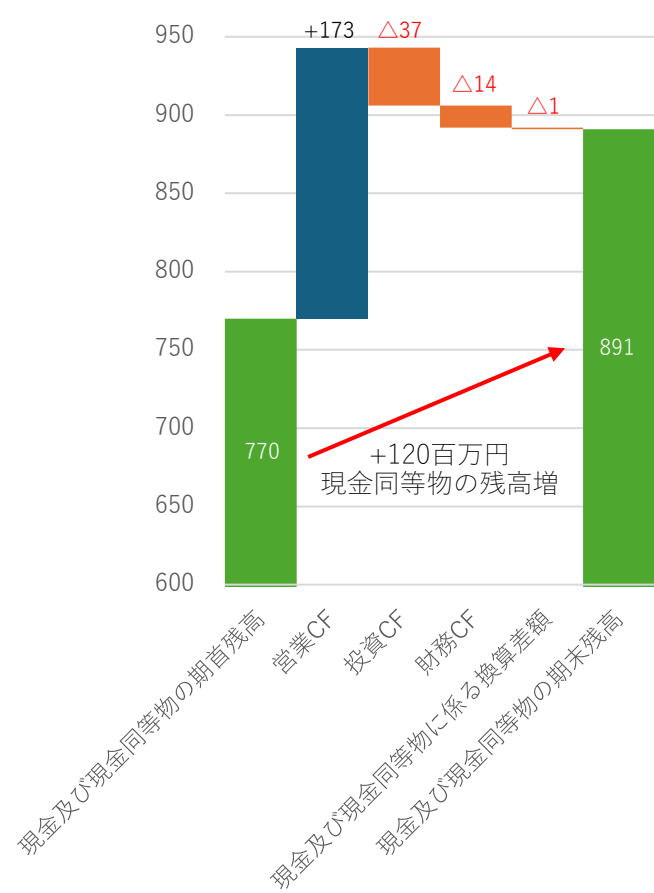
【連結キャッシュ・フロー】

単位：百万円

第43期中間期CF



第44期中間期CF



【主要な営業活動による
キャッシュ・フローの前年同期差】

- ・税金等調整前中間純利益 **+85**
- ・売上債権の回収 **+53**

【主要な投資活動による
キャッシュ・フローの前年同期差】

- ・有形固定資産の取得による支出 **△28**

【主要な財務活動による
キャッシュ・フローの前年同期差】

- ・長期借入金の返済による支出 **△14**

A solid green vertical bar is positioned to the left of the section header text.

2026年 3 月期 (第44期) 連結業績予想 (通期)



2026年3月期（第44期）連結業績予想（通期）

【連結業績予想】

単位：百万円

	2026年3月期 (第44期) 中間期実績	2026年3月期 (第44期) 予想	中間進捗率 (%)
売上高	485	1,025	47.3
抗体関連事業	484	1,015	47.7
化粧品関連事業	1	10	10.0
営業利益	142	240	59.2
抗体関連事業	142	238	59.7
化粧品関連事業	△0	2	赤字
経常利益	149	240	62.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	141	265	53.2

中間進捗率は、2025年5月14日公表の連結業績予想（通期）の計画通りであるため、通期予想数値を据え置きとします。

今後もSNS等を活用した情報戦略や人材・施設面の効率的な運用を行い、営業利益の増加を目指してまいります。

さらに、安定した収益を生み出すため、優位性の高い抗体を開発し、体外診断用医薬品領域の製品化を進め、販売に注力してまいります。